

新潟大学 遺伝子倫理審査委員会 情報公開文書

① 研究課題名	日本人集団におけるアルツハイマー病型認知症の遺伝的リスクと環境的リスクの関連解析
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	対象者：ToMMoに登録された検体。対象期間：2012年-。本課題は新規課題である。
③ オプトアウトの概要	本研究では ToMMo でリクルートされた検体のゲノムデータや一部検体の末梢血を扱い認知症と遺伝的要因や環境的要因の関連を調べる研究です。ToMMo で個人が特定されないように加工されたゲノム情報や表現型データのみを取り扱い統計的解析を実施します。本研究の概要は ToMMo からも情報公開され、新潟大学では ToMMo のオプトアウトにより同意撤回されたデータを除外して解析を行います。研究への参加は自由であり、ToMMo を介して拒否することが可能です。拒否された場合でも不利益を被ることは一切ありません。
④ 申請番号	G2025-0008
⑤ 研究の目的・意義	アルツハイマー病型認知症は老化などの環境的要因に加え、遺伝的要因によって発症する多因子疾患です。この複雑な病態を理解するために、遺伝子情報と臨床所見や臨床検査データとの関連を調べることが重要です。本研究では ToMMo プロジェクトに参加されたご検体の遺伝子情報や臨床データを用い、その関係性を解析します。本研究によって創薬等の開発の推進が期待されます。
⑥ 研究期間	倫理審査委員会承認日から2030年04月25日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	本研究では東北メディカル・メガバンク機構（ToMMo）事業に参加した約1.2万人の方々の遺伝子情報や臨床データを用い研究を行います。また一部ご検体の末梢血を用いた認知症のバイオマーカーを測定します。様々な統計解析を行いそこから得られた値を論文や学会で発表しますが、個人を特定できるような遺伝子情報などは開示しません。
⑧利用または提供する情報の項目	本研究では遺伝子情報や臨床データに関する情報を扱い、末梢血を用いた認知症のバイオマーカーを測定します。
⑨利用する者の範囲	新潟大学で遺伝子解析情報や臨床情報を利用し、末梢血を用いバイオマーカーを測定します。 新潟大学・脳研究所・遺伝子機能解析学分野 菊地正隆
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学・脳研究所・遺伝子機能解析学分野 准教授 宮下哲典
⑪お問い合わせ先	本研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。

所属：新潟大学・脳研究所・遺伝子機能解析学分野

氏名：菊地正隆

Tel：025-227-2344

E-mail：kikuchi@bri.niigata-u.ac.jp